## 英国のEU離脱に関する政府タスクフォース 第七回会合の開催について

## 1. 趣旨

英国のEU離脱に関する政府の今後の対応について検討するために、12月18日、 英国のEU離脱に関する政府タスクフォース第七回会合を開催。

2. タスクフォース出席者

議 長 西村 康稔 内閣官房副長官 副議長 古谷 一之 内閣官房副長官補(内政)

兼原 信克 内閣官房副長官補(外政)

構成員 籠宮 信雄 内閣府大臣官房審議官(経済財政運営担当)

佐々木清隆金融庁総括審議官今林顯一総務省国際戦略局長山野内勘二外務省経済局長川村博司外務省欧州局審議官

柴崎 澄哉 財務省 大臣官房審議官(関税局担当)

橋本 泰宏 厚生労働省 大臣官房審議官

横山 紳 農林水産省 大臣官房総括審議官(国際)

松尾 剛彦 経済産業省 大臣官房審議官

(通商政策局担当)

掛江 浩一郎 国土交通省 大臣官房審議官(国際)

其田 真理 個人情報保護委員会 事務局長

## 3. 第七回タスクフォースの概要

- (1) 12月18日,英国のEU離脱に関するタスクフォースの第七回会合が、議長である西村官房副長官の下、10関係府省庁等が出席して開催された。
- (2) 同会合では、各府省庁等から、英・EU間の離脱交渉を始めとする、これまでの展開について得られた情報や現時点の分析について報告があり、今後の対応について検討を行った。
- (3) 西村官房副長官は、英国とEUの交渉が新たな段階に入ったことを歓迎した上で、我が国の問題意識を英国とEUの双方に改めてしっかりとインプットしていくことが必要であり、英国を含む欧州の経済統合を所与のものとしてサプライチェーン・バリューチェーンを構築し、英国をはじめ欧州の経済・雇用にも大いに貢献してきた日系企業のビジネスモデルが維持されるよう、英国とEUの間で自由で緊密な経済関係が維持されることが早期に定まることが不可欠との問題意識を持ったと述べた。
- (4) また、西村官房副長官から、①引き続き様々なレベルで英国・EUからの情報収集を行うとともに、産業界への影響を分析すること、②日系企業から意見や要望を聴取し、関連情報を提供すること、③日系企業をはじめ経済界からの意見や要望をしっかりと受け止め、個別の事案に即して、EUに立地する企業を含め、最大限の支援を行うことにつき関係府省庁に対し指示があった。